

平成 29 年度

専攻科修了時アンケート調査結果報告書

平成 29 年度専攻科修了時アンケート分析

1. 創造工学専攻全体

・「専攻科を第一希望としたか」の項を以外は 2.5 を超える評価であり、平均的に肯定的な結果であった。

2. アンケート回答数と回答率

・品川機械（回答者数 9 名/修了生数 9 名）、品川電気電子（9/9）、品川情報（2/3）、荒川機械（5/5）、荒川電気電子（7/7）、創造工学専攻全体（32/33）回答率 97%。修了者数の関係で品川情報のアンケート回答数が少ない点、分析時に注意が必要。

3. 各コースの傾向

・専攻科第一志望は品川機械、荒川機械、荒川電気電子の率が高く、品川電気電子、品川情報の率が低い。

・専攻科所属に対する満足度は機械系が高く、情報、電気電子系は普通である。

・品川キャンパス、荒川キャンパス共に機械工学コース学生の専攻科に対する進学意欲が高く、特別研究へ非常に良く取り組み高い達成感が得られており、修了後の進路への満足度も高い。

・品川キャンパス、荒川キャンパス共に電気電子工学コース学生は特別研究へ良く取り組み、比較的高い達成感が得られているのに対し、修了後の進路への満足度は普通か、やや低い傾向がみられる。

・品川キャンパス電気電子工学コース学生の専門教育と一般教養教育に対する満足度はやや低い傾向がみられ、情報工学コース学生について、専門教育に対する満足度が高く一般科目に対する満足度が低い。

4. ディプロマポリシーとの対比

下記に示す様にコースにより目標毎の高低はあるが、全目標に対し全コースの平均が 2.5 以上であり、平均的な修了生の捉え方としてディプロマポリシーを満足していると考ええる。

（1）学習力

・全コース 2.5 以上。情報工学コースが低く、荒川キャンパス機械工学コースが高い。

（2）コミュニケーション力

・全コース 2.5 以上。情報工学コースが低く、品川電気電子工学コースが高い。

（3）人間性・社会性

・全コース 2.5 以上。情報工学コースが低く、品川キャンパス機械工学コース、荒川キャンパス機械工学コース、荒川キャンパス電気電子工学コース共に高い。

（4）基礎力：数学、自然科学

・全コース 2.5 以上。品川キャンパス電気電子工学コースが低く、情報工学コースと荒川キャンパス電気電子工学コースが高い。

基礎力：専門

・全コース 2.5 以上。品川キャンパス電気電子工学コースが低く、情報工学コースが高い。

(5) 応用力・実践力

・全コース 2.5 以上。情報工学コースが低く、荒川キャンパス機械工学コースが高い。

(6) 創造力

・全コース 2.5 以上。情報工学コースが低く、荒川キャンパス機械工学コースが高い。

以上

平成29年度専攻科修了時アンケート

● 機械工学コース 品川
 ● 電気電子工学コース 品川
 ● 情報工学コース 品川
 ● 機械工学コース 荒川
 ● 電気電子工学コース 荒川
 ● 全体

進学に際して専攻科を第1希望としていましたか？

か？

卒業後の進路について、希望する進路に就くことが出来ましたか？

専攻科に所属したことに対する満足度は？

(5)応用力・実践力

工学的立場から社会に存在する問題点を発見して、それを今後、解決していく自信が得られましたか？

特別研究に従事して達成感は得られましたか？

(3)人間性・社会性

一般科目（国語、外国語、社会等の文系科目）を通じて、幅広い教養が身に付くと同時に産業界や地域社会、国際社会に貢献できる素養が持てましたか？

(6)創造力

専門知識を応用して特別研究に取組むことが出来ましたか？

(4)基礎力：数学、自然科学

一般科目（理数系科目）の授業を通じて、数学や自然科学などの基礎力を身に付け、それを専門分野に応用出来ましたか？

(1)学習力

特別研究やエンジニアリングデザインでは自主的・計画的に継続して取組むことが出来ましたか？

(4)基礎力：専門

専門科目の授業を通じて、専門基礎知識を身に付けることは出来ましたか？

(2)コミュニケーション力

特別研究や他の授業で与えられた課題に対して、理論的に思考して、プレゼンテーションを行うことは出来ましたか？

